

2025年度 ニチキッズひばりヶ丘保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月8日（木）～1月29日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月24日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	『おもいっきり遊ぶ』『おもいっきり学ぶ』の保育理念を常に意識し、子どもたちの思いに寄り添いながら、保育計画をたてて進めていった。また職員も一緒におもいっきり遊んだり学んだりしながら、ワクワクした保育を展開するよう尽力した。
子どもの発達援助	ご家庭との連携を大切にしながら、一人一人の発達に応じ、適切な援助ができるよう心掛けた。一人一人の情報を全スタッフで共有し、ケースカンファレンスや研修の機会を多く持ち、全スタッフが理解を深め、同じ方向を向いて関わっていった
保護者に対する支援	送迎時のお声かけや日々の連絡帳を通して子どもたちの成長をお伝えし、一緒に成長を喜び合うことが出来た。親子行事を通して、保護者と職員とのコミュニケーションを深め、信頼関係を構築していった。
保育を支える組織的基盤	園内外の研修に積極的に参加。そこで学んだことを全スタッフに共有。心理的安全性を大切にし、常に感謝の気持ちを持ち個々の意見を出しやすい雰囲気大切にできた。今後も情報共有はこまめに実践していきたい。

総評
子どもたちにとって何が大切かという視点を大切にしながら意見交換の場を多く持つことが出来た。情報共有に関してもいろいろな方法でこまめに共有し、何かあれば全スタッフで話し合い、みんなで考える風土も構築できた。特に一人一人の子どものカンファレンスに力を入れ、意見を出し合い、同じ方向を向いて保育することが出来たのではないかと思う。保護者の方々とのコミュニケーションを大切にしながら、子どもたちの成長と一緒に喜ぶことも出来たと思う。今後も積極的に研修に参加し、そこで学んだことを共有し、全スタッフで学びあいの場を多く持ちたい。